



わかさ

社会福祉法人 金城報恩会立
わかさ保育園
TEL 868-7713
平成31年3月1日(金) 発行:第439号

子どもの思いを受けとめて

園児達は卒園の喜びや修了の喜び、更に入学や入園、進級に期待し日々友達や保育士と一緒に「最後の仕上げ」を楽しんでいます。入園や進級したばかりの頃は、時々不安そうな表情を見せることもありましたが、あそびや行事をとおし、泣いたり、自信をなくしたりしつつも、クラスの仲間と励まし励まされたり、自ら努力を重ねていくうちにたくさんの経験や体験をしたことでしょう。マスコミから伝わってくる悲しい辛いニュースを聴く度に、子どもたちも幼い頃より「生きる力」を身につけて欲しいと思います。「三つ子の魂百までも」の諺にもありますように、幼児の間に人間として考える力が8割できると言われております。それだけに大人が幼児期の間に基本的な生活習慣が身につくよう子育てをしていきたいですね。むつかしく考えるととまどってしまいます。まずできることから始めてみるのも方法のひとつだと思います。まず、子どもの思いや気持ちをよく聴いて受けとめる。その中で子どもと向きあい、ひとつひとつ丁寧に話し合っていくことも大切でしょう。丁寧に話し合う中で親からまわりから大切にされているという愛情を感じ取ることでしょう。その積み重ねからじっくり考える力が身についてくるのではないのでしょうか。聴いてもらえることにより集中して聴く力が自然とできるようになり、心も育つのではないのでしょうか。保育園と家庭と一緒に協力しあい、共に子育てをしていきたいと思ひます。



主題：大きくなった私達

- たんぽぽ組** …★保育者と一緒に身のまわりのことを自分でやってみようとする
★園庭や散歩などで探索遊びを十分に楽しみ春の自然にふれる
- ちゅうりっぷ組** …★一人一人の成長を喜び進級に期待が持てるようにする
★保育士に見守られる中で、意欲的に自分でできる事や興味を持った物事に取り組もうとする
- もも組** …★大きくなった喜びと進級への期待を持ち、できる事は自分でする
★簡単な決まりのあるあそびを通して、友だちと一緒に遊ぶ楽しさを知る
- すみれ組** …★身のまわりの事が自分でできるようになり自信を持って行動する
★進級への喜びや期待などの気持ちを持ち、友だちと色々な遊びを楽しむ
- ゆり組** …★友だちや異年齢児との活動に意欲的に取り組み、大きくなった喜びや卒園への期待をもつ

♪ 今月の歌 ♪

- *千ポリーノの冒険
おいらのうまれば たまねぎばたけ
ようきでげんきで ともだちいっぱい
かぶごさん いちごさん さくらんぼぼうや
ぶどう おやかた にらやま にらきちどん
たまねぎにおいの きらいなやつは
レモンたいごう トマトきし
ゆこうよ ゆこうよ
くじけずゆこう
千ポリーノ 千ポリーノ
ほくもなかま
- *手話ソング「きみにあえてうれしい」
きみにあえて うれしい
きみにあえて うれしい
ほくらは まっていた
いっしょにゆこう
とおい みらいを こえて
こんにちは しらないこ
みんなで あくしゅ しよう
わらいごえ つながって
にこにこ りほん ちきゅうに かけよう
きょうから ともだちだ
きみにあえて うれしい
きみにあえて うれしい
ほくらは まっていた
きみが くるのを
ほら なかよしだ ずうっと

～お知らせ～

- ★今月は、園からの発送文書が多くなりますので見落としのないようにしましょう。
- ★15日(金)PM4:30～6:00、18日(月)AM9:30まで
全クラスの1年間の作品集とゆり組の創作絵本を3階すみれ組の部屋にて展示しますのでご覧ください。
- ★29日(金)・30日(土)は、新年度準備のため、家庭保育のご協力をよろしくお願ひします。
- ★裏面に「一年を振り返って」の文章が載っていますので、ぜひご覧ください。
- ★フリー保育士の比嘉良美がご結婚し、池田良美になりました。3月から産休に入ります。



☆今月の予定☆

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
ひなまつり会				身体計測・応援デイ	身体計測・絵画	誕生会	お別れ遠足・弁当					リトミック	とびだせポケット	手作りえほん展	手作りえほん展			卒園式リハーサル	お別れ会	春分の日					卒園式	修了式	進級式	新年度準備	新年度準備	

★1年をふりかえって★

～たんぽぽ組～

入園当初は、慣れない環境での集団生活に不安気に泣き出していた子ども達。今では好きなあそび・場所・食べ物など個性を発揮したり、自力でしっかり立ち歩き、室内外で小走りする姿も増えてきました。それにとまなう様々な場面があり、時にトラブルにつながる事もありましたが、お友だちと手をつないだり自分より小さなお友だちの顔を優しくなでたり、思いやりの気持ちも芽生えてきました。日々成長する場面に立ち合えた事、本当に嬉しく思います。保護者の方や子ども達を見守ってくださっている方々のおかげです。

進級まであと1ヶ月。明るい笑顔と元気パワーで楽しく過ごしていきたいと思っています。



～ちゅうりっぷ組～

4月の頃はまだヨチヨチ歩きだった子ども達。今では走ったり、ジャンプしたり…。又、泣いて訴える事が多かったのが今では「かして」「こんなしたらだめよね」等々、お話しも上手になり一人一人の成長を実感している毎日です。
“自分でやる！” “これやりたい！”も増えやる気パワーMaxのちゅうりっぷ組さん。なんでもやってみようとする意欲を大切に残り一ヶ月、素敵なお兄ちゃん、お姉ちゃんを目指して一緒にいろいろな事を楽しんでいきたいと思っています。



～もも組～

4月、進級したばかりの子ども達は登園の際、よく泣く子もいましたが毎日お庭で遊べる楽しさでニコニコ登園の子もいました。最初は小さなことで保育士に「できない」「やって～」と言っていた子ども達ですが、もも組で生活する中で少しずつ「手伝って」や「自分で」という声が増え今では苦手なことにも挑戦し、野菜が食べられるようになったり、一人で着脱から着替えまでできるくらいに成長しています。お友だちとも仲良く楽しく遊んでいます。

残りの日々も子ども達としっかり向き合い、丁寧に関わり過ごしていきたいと思っています。



～すみれ組～

すみれ組になったばかりのころは、環境の変化に戸惑い緊張した表情をみせていた子ども達。私たち保育士も一人一人の対応に日々悩み、子ども達との信頼関係づくりに励むスタートでした。

また、ともにもも組で過ごしてきたお友達との別れもあり、「〇〇ちゃんどこ行ったの？」など気にかける姿もみられました。そして、新しい出会いもあり、進入児の子がうまく溶け込めるか少し心配な所もありましたが、すぐに仲良くなり楽しく過ごしています。

生活面では、手伝ってもらいたいと甘えてくる事が多かったあの頃、今では見違えるほど自分から進んで行き、誇らしげな姿をみせるほどです。

個性豊かで活発な子が多く、自己主張も多くなりましたが、自分の過ちに気づき素直に謝り仲直りする姿もみられるようになり、いつも元気いっぱいです。

時間はあっという間に過ぎ、残り1か月！！新しい環境に期待を膨らませられるよう、最後まで子ども達としっかりと向かいあって過ごしていきたいと思っています。



～ゆり組～

進級したばかりの4月。新しい担任とちよっぴり違う環境に期待と緊張をのぞかせていた子ども達。最初は頼りないところもありましたが夏期交流での年下児のお世話、運動会でのリレー、エイサーなど「年長」でしかできない事をたくさん経験し、次第に自信をつけていきました。今ではすっかり年長さん！！友だちと協力しているんなことを自分たちで進めていくようになり成長した子ども達に別れが近いと気づかされることも…。

子ども園への進級に期待を膨らませている子ども達一人一人と仲間の輪を大切に、一日一日を大切に過ごしていきたいと思っています。



～保護者の声～

たんぽぽ組

父と同じ保育園への入園からあっという間に1年が経とうとしています。つかまり立ち、今では保育園まで15分の距離を歩いて通えるようになりました。みんな泣いていた4月が嘘のように、今ではお友達が名前を呼んでくれたり、お互いにお世話をしようしたり、2階から手を振って見送ってくれると、とても嬉しそうに一生懸命に手を振り返す姿を見ると、皆の成長一つ一つがとても愛しく感じます。大泣きしていた運動会から笑顔でやり切ったおゆうぎ会。卒園式でもないのに目頭が熱くなりました。1月末には、妹も生まれましたが何度も頬づりする様子やオムツを取りに走ったりと小さいながらに更に小さな妹を精一杯お世話をしようとする姿に癒されています。こうやって成長できたのも先生たちに日々たっぷり愛情をかけてもらい、見守られ、のびのびとさせてもらっているからだと思っています。家族一同感謝の気持ちでいっぱいです。



ゆり組

たんぽぽ組に入園してもうすぐ5年。後1か月で卒園を迎えます。おっぱいが大好きな娘を預け出勤する寂しさは、三人目の子でも一緒でした。2歳児のイヤイヤ期や連休明けの登園をグズる時、忙しい時に合わせたかのような発熱など、大変な事は色々ありましたが、娘はのびのびと元気に育ってくれました。

それは、家族は勿論ですが、私達親子を温かく見守っていただいた先生方、娘のお友達、保護者の皆様の支えがあったからです。慌ただしい日々の中で、娘の園での様子や成長ぶりを担任の先生方以外の方にも沢山教えてもらい、その優しい見守りに感謝しております。お友達にも恵まれ仲良く遊びながらも互いに小さな社会のルールのような物を学んでいる姿が微笑ましいです。

卒園を不安に思いつつ進学を心待ちにしている娘を見ると一番卒園を寂しく思っているのは私の様な気がします。娘はこの素晴らしい園生活を胸に、これからものびのびと成長してくれることでしょう。



